

感染症 Virtual Meeting

謹啓 時下、先生におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は、弊社製品に関しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さてこの度、「感染症 Virtual Meeting」を次のとおり開催させて頂く運びとなりました。
つきましては、ご多用とは存じますが、ご参加賜りますようご案内申し上げます。

謹白

日時 2021年 **8月24日(火)** 17:45~19:00 (Web配信のみ)

17:45-18:00 情報提供

MSD株式会社

製品紹介

**β-ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質製剤
『レカルブリオ®配合点滴静注用』**

18:00-19:00 講演(60分Q&A含む)

Web-Live配信

講演

**「挑む！グラム染色
～感染症診療におけるグラム染色の再考～」**

座長

加藤 純 先生

由利組合総合病院 臨床検査科 副技師長

演者

豊川 真弘 先生

福島県立医科大学 保健科学部 臨床検査学科 教授

*講演・質疑ともにLive配信いたします。

*ご視聴に際し、弊社が提供する医療関係者向けウェブサイト **MSD Connect**の会員登録
(Eメールでの登録)が必要になりますので、弊社担当者から会員登録のご案内をさせていただきます。

*個人情報当講演会の連絡のみに使用し、他の目的には一切使用しません。

*本講演会は、Veeva社が提供しているVeeva EngageかZoomのアプリケーションを使用しています。
事前に当該アプリのインストールが必要となることをご了承ください。

*Macには、Veeva Engageのアプリケーションがございませんので、Zoomのアプリケーションでご参加ください。

*本インターネット講演会のご参加に当たり、弊社による交通費の負担はできませんことをご了承ください。

次ページに講演会のご視聴を希望される場合の
操作方法を記載していますので、ご確認ください。

共催：福島県臨床検査技師会 MSD株式会社

感染症 Virtual Meeting

講演

「挑む！グラム染色 ～感染症診療におけるグラム染色の再考～」

豊川 真弘 先生

福島県立医科大学 保健科学部 臨床検査学科 教授

感染症診療では、迅速かつ正確に臨床検査結果を報告し、その結果に基づいた適切な抗菌薬の選択が必要とされます。

適正な抗菌薬選択のためには微生物検査が欠かせず、なかでもグラム染色は、初期治療における抗菌薬の選択、治療方針の決定、材料評価が一度に判読できる治療の適正化を図るには有用な検査手法です。

しかし、グラム染色結果の解釈には経験を要することもあり、実際なかなかうまく活用できていない場合もあると思われます。

今回、「挑む！グラム染色～感染症診療におけるグラム染色の再考～」というテーマで、今なぜグラム染色か？グラム染色がいかに感染症診療に役立つか、メリット・デメリット、課題も知ったうえで、その意義や活用のポイントを皆様と共有したいと思います。

web講演のご視聴申し込み・参加登録手続き連絡先

MSD株式会社 講演会参加登録担当：森下 亮

Eメール： ryo.morishita@merck.com

上記連絡先宛に、ご所属施設とお名前を明記の上、Eメールにてご連絡をいただき次第、Web講演のご視聴・参加登録の確認メールをお送りしますので、ご返信ください。

◆講演会当日に参加されましたら

STEP.1 ログイン後にお名前の変更をご確認ください

芳名録とさせていただきますので、大変恐れ入りますが、先生のお名前、ご施設名の順に表記のご変更をお願いいたします。

【先生のお名前 先生のご施設名】



MSD バーチャルミーティングはZoom、Veeva Engageの両アプリ対応です。

Zoomで実施する場合



- 1 参加者をクリックします。
- 2 [詳細]>[名前の変更]をクリックし、名前変更します。
※ご自身の名前は一番上に表示されます

Veeva Engageで実施する場合



- 1 参加者をクリックします。
- 2 [詳細]>[名前の変更]をクリックし、名前変更します。
※ご自身の名前は一番上に表示されます

STEP.2 音声接続をご確認ください

Zoomで実施する場合



- 1 左記表示の場合はクリックします。
※マイクアイコンの場合は
- 2 **コンピューターでオーディオに参加** をクリックします。

Veeva Engageで実施する場合

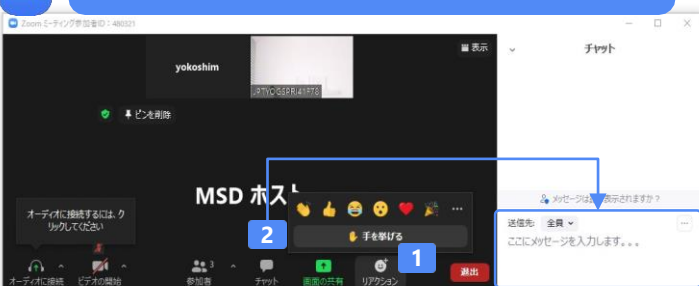


- 1 左記表示の場合はクリックします。
※マイクアイコンの場合は
- 2 **コンピューターでオーディオに参加** をクリックします。

講演中の質疑応答について

質疑応答の2パターンをご案内します。質疑応答の実施可否については開始前アナウンスなどをご確認ください。

Zoomで実施する場合



- 1 **手を挙げるパターン**
画面下にあるリアクションをクリックし、表示されるメニューから **手を挙げる** をクリックしてください。
- 2 **チャットを送るパターン**
画面下にある[チャット]をクリックし、画面右側から問い合わせ窓口までチャットをお送りください。

Veeva Engageで実施する場合



- 1 **手を挙げるパターン**
画面下にある参加者をクリックし、画面右側から **手を挙げる** をクリックします。
- 2 **チャットを送るパターン**
画面下にある[チャット]をクリックし、画面右側から問い合わせ窓口までチャットをお送りください。